

社会保険論Ⅱ

科目ナンバリング ECP-336
選択 2単位

前川 正

1. 授業の概要(ねらい)

社会保険は、国民の生活の安定が損なわれた場合に、国民にすこやかで安心できる生活を保障することを目的として、公的責任で生活を支える給付を行う仕組みです。我が国は人口の減少・超高齢化が世界の国々の中で最も早く進んでいると言われており、今後我が国の社会保険は難しいかじ取りを迫られる局面が続くと思われます。一方で、目を世界に転ずれば世界経済の見通しは一層その不透明さを増してきています。格差の拡大も指摘されています。国民の生活を守り、社会の統合や政治的安定を図る社会保険の重要性は一層増してきております。社会保険論Ⅱでは、介護保険、年金、雇用保険、労働者災害補償保険の基本的な考え方や制度の特徴を理解します。また社会保険の歴史や構造を学習することで現在どのような課題を抱えており今後どう変化していくのかを考えていきたいと思います。これが授業の狙いとなります。授業は基本的に講義形式で行います。

2. 授業の到達目標

- ①介護サービスを保障する介護保険の仕組みについて理解することができます。
- ②所得を保障する年金の仕組みについて理解することができます。
- ③失業した場合に所得を保障する雇用保険の仕組みについて理解することができます。
- ④業務上の事故について補償する労働者災害補償保険の仕組みについて理解することができます。
- ⑤社会保険の歴史および財政状況について学ぶことができます。

3. 成績評価の方法および基準

- ①小テスト(複数回) 20%
- ②特別講義に対する感想レポート提出 10%
- ③試験 70%

4. 教科書・参考文献

参考文献

槇野美智子・田中耕太郎 [著] 『はじめての社会保険-福祉を学ぶ人へ[第18版]』(2021年) 有斐閣アルマ

5. 準備学修の内容

当日の講義は前回講義の各自の復習をもとに進めるので次のような準備学修課題を課します。

- ①講義で使用する資料・レジュメは講義の前日にはLMSにアップするので事前に予習することも、また復習を兼ねて資料を熟読することもできます。
- ②講義内容に関連する文献・資料等(各回講義の中で参考文献は紹介)について自主学習に取り組んでください。
- ③複数回小テストを実施します(教室内で行う場合とLMS機能の課題提出を使用して行う場合)ので実施した小テストの回答を確認して復習に取り組んでください。

6. その他履修上の注意事項

- ①欠席及び公欠の扱いについては原則大学の規定にフォローします。
- ②他の受講生の迷惑にならないように最低限の授業におけるマナーは厳守してください。(特に私語は慎んでください)
- ③受講に対してとくに対応が必要な場合(病気・ケガ・障害)は遠慮なく申し出てください。
- ④授業をよりよくしていく上での建設的な意見・感想・コメントも遠慮なく連絡ください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | オリエンテーション-授業の進め方・成績評価の方法および基準・準備学修の内容等の概要、春学期試験の説明 |
| 【第2回】 | 介護保険(1) 介護サービスを保障する仕組み・保険者・被保険者と保険料 |
| 【第3回】 | 介護保険(2) 保険給付・介護提供体制・権利保護 |
| 【第4回】 | 年金(1) 所得を保障する仕組み・被保険者と保険料 |
| 【第5回】 | 年金(2) 老齢年金 |
| 【第6回】 | 年金(3) 財政方式・障害年金・遺族年金 |
| 【第7回】 | 年金(4) 年金の業務体制・企業年金 |
| 【第8回】 | 雇用保険(1) 失業した場合に所得を保障する仕組み・被保険者と保険料 |
| 【第9回】 | 雇用保険(2) 保険給付・雇用保険事業 |
| 【第10回】 | 労働者災害補償保険(1) 業務上の事故について補償する仕組み・適用事業と保険料 |
| 【第11回】 | 労働者災害補償保険(2) 業務上/通勤による災害の認定・保険給付・社会復帰促進事業 |
| 【第12回】 | 特別講義(外部講師) |
| 【第13回】 | 社会保険の歴史と構造(1) 社会保険の財政・現在の社会保険の課題と今後の展望 |
| 【第14回】 | 社会保険の歴史と構造(2) 日本の社会保険の歩み・社会保険の機能(オンライン授業:LMS) |
| 【第15回】 | 後期のまとめと授業内試験 |